

# 横浜教区 平和宣教月間

2024年8月1日～31日

「平和を造る人々は、幸いである

その人たちは神の子と呼ばれる。」

マタイによる福音書 第5章9節 ©聖書協会共同訳聖書



「平和宣教月間」は、1986年の第44（定期）教区会決議第10号（第7号議案修正案可決）によって設けられたもので、その目的は、「国際平和年（International Year of Peace）に当り先の15年戦争の体験を心に刻み、平和の使徒（ピースメーカー）とせられるよう共に学び行動すべく、毎年8月を『平和宣教月間』とし、教会の諸活動を通じて、趣旨達成に努める」となっています。

2022年から始まったロシア軍によるウクライナ侵攻は未だ続いています。その他にも目を覆いたくなるような出来事は報道でも知るところで、平和の尊さを日々痛感させられます。私たちにとっての平和とは、このような、戦争の対義語としての平和はもちろんです。暴力や差別、貧困などで脅かされない心の平和をも意味するでしょう。私たち一人ひとりが「平和宣教月間」での祈りや学び、また奉仕の業を通して、神さまの平和の使徒としての歩みを進めていくことができますように。

## 【2023年平和宣教月間の取り組みの一例】

- ・8月中の主日礼拝聖歌に、421（ひろしま）、422（ながさき）、423（おきなわ）を歌う。
- ・教会報に平和について牧師と信徒が寄稿して掲載、地域の平和の集いに参加。
- ・「聖フランシスコの平和の祈り」を毎主日に一同で唱えた。
- ・日本聖公会正義と平和委員会『戦争証言集』『戦争証言集・続編』を朗読。黙想し祈りをささげた。

（このポスターは横浜教区ホームページからダウンロードできます）